

進路だより



2020年5月18日(月)
 福島県立あさか開成高等学校
 進路指導部 第3号

注目！医療の仕事

新型コロナウイルスの最前線でいま、全国の医療従事者の方々が奮闘されております。4月の進路希望調査で最も希望者の割合が高かった看護・医療技術系の仕事を紹介します。



看護・医療技術系 2020年国家試験合格率

種別	区分	受験者	合格者	合格率
看護師	大学(4年)	22,109	21,004	95.0%
	短大(3年)	1,430	1,203	84.1%
	専門学校(3年)	26,763	24,703	92.3%
理学療法士	大学・短大・専門	12,283	10,608	86.4%
作業療法士	大学・短大・専門	6,352	5,548	87.3%
臨床検査技師	大学・短大・専門	4,854	3,472	71.5%
臨床工学技士	大学・専門	2,642	2,168	82.1%

主な大学の国家試験合格率(臨床工学技士は新卒のみ)

大学名	看護師	理学療法士	作業療法士	臨床検査技師	臨床工学技士
岩手県立大学	96.8%	—	—	—	—
宮城大学	98.9%	—	—	—	—
山形大学	98.5%	—	—	—	—
山形県立保健医療大学	96.9%	95.5%	100%	—	—
福島県立医科大学	98.8%	—	—	—	—
群馬大学	98.7%	100%	95.5%	92.5%	—
新潟大学	97.6%	—	—	94.4%	—
東北福祉大学	95.5%	96.2%	97.4%	—	—
東北文化学園大学	76.4%	95.4%	82.5%	—	90.0%
日本大学(工学部)	—	—	—	—	71.4%
つくば国際大学	83.6%	87.3%	—	72.0%	95.0%
国際医療福祉大学	94.9%	100%	100%	—	—
群馬医療福祉大学	92.9%	90.0%	95.8%	—	—
群馬パース大学	98.8%	95.1%	—	98.4%	—
高崎健康福祉大学	99.1%	97.9%	—	—	—
埼玉医科大学	95.5%	100%	—	95.2%	100%
新潟医療福祉大学	99.0%	98.3%	97.8%	68.2%	94.5%

臨床検査技師

健康管理や病気
 の予防、早期発見、

治療に不可欠な身体状態の検査(臨床検査)を行います。臨床検査には、検体検査(血液、尿や便、組織の一部を採取して、検体分析を行う)と生体検査(医療機器を使い身体に直接働きかけ、心電図や脳波などを調べる)があります。検査説明や検体採取から検査報告まで行い、健康診断ではほとんどの分野を担当します。超音波検査士や細胞検査士、認定CRCといった関連資格にも挑戦することが可能です。

病院や検診センター、行政機関以外にも、公害研究所、労働衛生施設、薬品会社、治験受託企業、食品衛生業界などでも活躍しています。

PCR検査を担っています。

保健師

地域に住む人々が健康的な生活が送れるよう保健指導

を行います。医療や健康だけでなく、生活習慣病、児童虐待、高齢者や障がい者の孤立、自殺対策を含むあらゆる年代のメンタルヘルス、新型インフルエンザ等の新興感染症、自然災害、健康格差なども対処して解決できるようケアにあたります。主に、保健所や市町村役場などの行政機関で活躍しています。養護教諭の免許も取得していれば、学校保健室で働くこともできます。

保健師になるには、保健師国家試験および看護師国家試験に合格しなければなりません。卒業と同時に国家試験を受験できるのは、大学の看護学系学部で保健師になるための課程を専攻した者(必修か選択制かは大学による)、統合カリキュラム採用の看護系専門学校(修業年限4年以上)卒業です。それ以外には、看護師養成所または看護大学や短大を卒業してまず看護師の資格を取得後、保健師養成課程の専攻科を持つ短大、専門学校に1年通う方法があります。

新型コロナの対応で、現在全国の保健師さんが奮闘されていますね。

臨床工学技士

医師の指示のもと、心臓手術や人工透析治療の

ときなどに生命維持管理装置を操作して治療の補助をしたり、医療機器が常に安全に有効に使用できるように保守・点検・管理をしたりする仕事です。工学的知識を持ったスペシャリストで、患者の生命をつなぎ、重症者の治療になくてはならない存在です。

人工心肺装置 (ECMO) を扱う仕事です！

詳しくは『**進路の手引き 2020 年度版**』に掲載されています。他の医療技術系の仕事についてや上級学校の情報などもありますので、配布されたらじっくり読んでみてください。

「夢ナビ」のサイトで自分の夢を広げよう！



おすすめ① **夢ナビ**>講義のライブ動画を見よう！今なら日替わりで無料視聴できます！

おすすめ② **関心ワード**や**学問分野別**から気になるものをチェックしてみよう。

夢ナビ公式サイトよりご紹介

「看護と哲学をつなぐことで、看護現場が変わる」

●既成概念を取り払って物事をとらえる

看護学と哲学とは、学問上、かけ離れた存在のように思えます。ところが、看護師たちの医療現場での仕事のしかたを、より事実即した形で理解するのに哲学が役に立つことがあります。一般論として、よく、「人の痛みというのはその人個人の身体の中で起こっている主観的なものだから、他人にはわからない」などと言うことがあります。しかし本当にそうでしょうか。哲学では、そうした既成の概念や枠組みを一度取り払い、実際に目の前で起きていることをとらえ直します。

●患者の痛みが「見えている」看護師たち

例えば病棟で、患者が自分の痛みを表すのに1から10の数値を用いて「3 くらいの痛み」だと言うときに、看護師が「もっと痛いのでは？ お薬のみましましょうか」と応答するケースがあります。看護師は毎日患者をケアしているため、その人の痛みがよく「見えて」いて、患者が言った数値ではなく、目の前の痛みに反応しているのです。これは、看護師の身体が現場の状況に即して応答している例で、「実践知」といえるものです。患者は看護師との対話を通して自らの痛みを再認識し、ケアを受け入れます。もちろん中には、「いや、痛くない」と言う人もいます。そうした「ずれ」とも言える反応が返ってきたときに初めて、看護師は、「痛みというのは主観的なものだから」と考えるのです。

●現象学的見地で看護現場を再認識

人が生きて暮らしている現実世界の成り立ちを、既存の枠組みを棚上げしてとらえ直し、記述する。これは哲学の中でも現象学といわれる学問領域の取り組みです。看護の現場においても、そこで起きている事実をありのままに記述し、それらを看護師にフィードバックすると、看護師の自らの仕事に対する理解の枠組みが変わり、現場の動きも組み替わっていきます。無自覚なままに自分が行っていたことを再認識することで、看護についての理解も深まる、そんなプロセスを促す手がかりとして、哲学は重要な役割を担っているのです。

【東京都立大学 健康福祉学部 看護学科 教授】西村 ユミ 先生